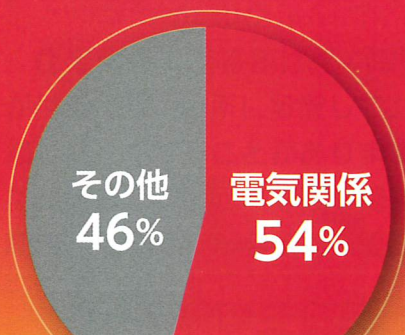


今、備えよう。大規模地震時における



地震による火災の過半数は電気が原因です。



過去の大地震では建物の倒壊だけでなく、火災の被害が多く発生しています。東日本大震災による火災では、上のグラフのとおり、原因の特定されたもののうち過半数は電気に起因したものでした。

電気火災対策には感震ブレーカーが効果的です。

<認証マーク・推奨マーク>



感震ブレーカーは震度5強相当の地震を感知して、電気を自動で遮断します。感震ブレーカーには分電盤タイプ（内蔵型）、分電盤タイプ（後付型）、コンセントタイプ、簡易タイプがあります。

電気火災対策

分電盤タイプ〈内蔵型〉

分電盤に感震遮断機能が内蔵されています。地震が発生し、大きな揺れを感知すると、ブザー音になります。設置には電気工事が必要です。



分電盤タイプ〈後付型〉

既設の分電盤に後から設置できる後付型です。設置には電気工事が必要となります。



コンセントタイプ

内蔵されたセンサーが地震を感知するとコンセントからの電気を遮断します。特に出火の危険性の高い電熱器具が接続されているコンセントを中心に設置すると効果的です。



簡易タイプ

地震の振動で主幹ブレーカーをOFFに切り替えます。バネで動作するものや、おもりで動作するもの等があります。

